

v. 結婚・子育てに関するアンケート調査

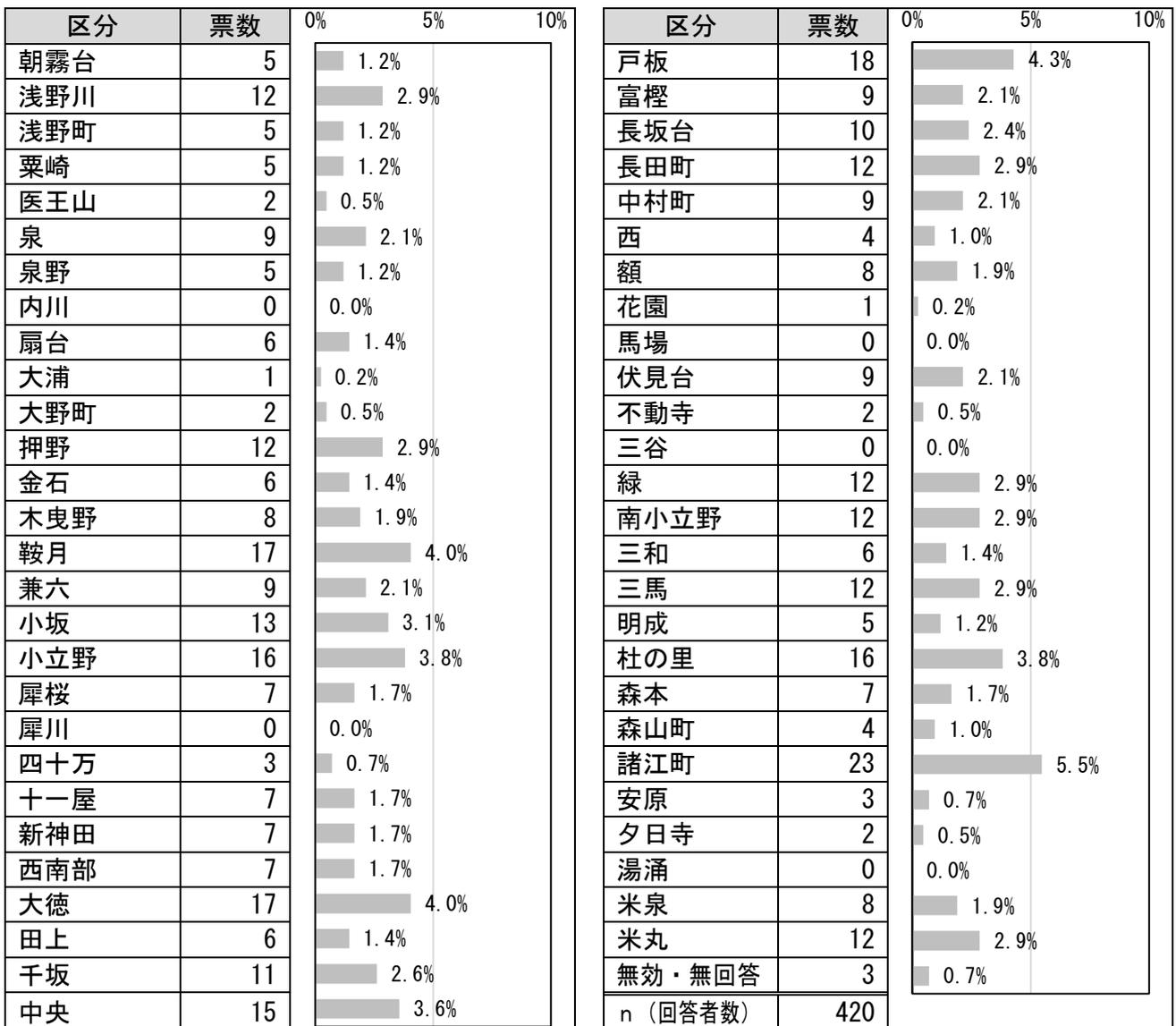
《対象：22 歳以上 45 歳以下の方》

1 回答者の住まい

(1)お住まいの小学校区(単一回答)

問1 お住まいの小学校区(校下)名(お送りした封筒の住所の上に記載してあります)を教えてください。あてはまるもの1つをお選びください。※小学校区は50音順に並んでいます。

・お住まいの小学校区は、「諸江町」が5.5%、「戸板」が4.3%、「鞍月」が4.0%、「大徳」が4.0%となっています。



2 回答者の属性

(1)性別(単一回答)

問2 あなたの性別をお答えください。あてはまるもの1つをお選びください。

・性別は、「男性」が41.2%、「女性」が56.7%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
男性	173						
女性	238						
その他(どちらともいえない・わからない・答えたくない)	8						
無効・無回答	1						
n(回答者数)	420						

(2)年齢(単一回答)

問3 あなたの年齢は令和5年12月1日現在、何歳ですか。あてはまるもの1つをお選びください。

・年齢は、「22～24歳」が16.7%、「25～29歳」が28.8%、「30～34歳」が21.0%、「35～39歳」が12.9%、「40歳以上」が20.7%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
22～24歳	70						
25～29歳	121						
30～34歳	88						
35～39歳	54						
40歳以上	87						
無効・無回答	0						
n(回答者数)	420						

(3)職業(単一回答)

問4 あなたの就業状況は、次のどれに該当しますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・職業は、「正規社員（自営業を含む）」が最も多く75.5%を占めており、次いで「パート、アルバイト又は内職」が7.1%となっています。

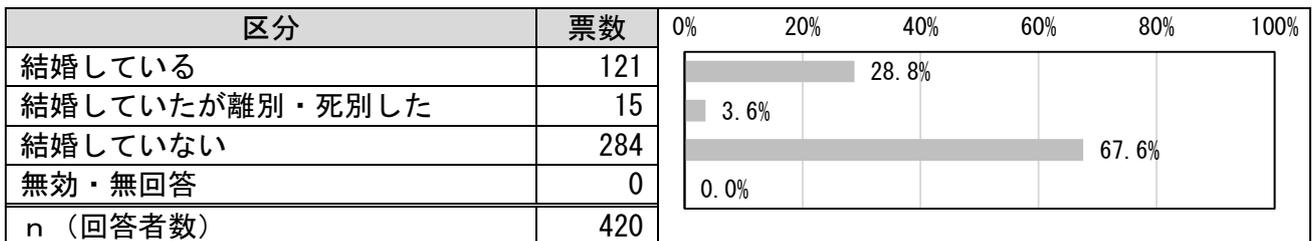
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
正規社員（自営業を含む）	317	75.5%					
契約社員	20	4.8%					
派遣社員	9	2.1%					
パート、アルバイト又は内職	30	7.1%					
非就業	19	4.5%					
学生	20	4.8%					
その他	5	1.2%					
無効・無回答	0	0.0%					
n（回答者数）	420						

3 結婚

(1)結婚の状況(単一回答)

問5 あなたは結婚していますか。(ここでいう結婚には、法律的に届け出をしていない事実婚も含みます。) あてはまるもの1つをお選びください。

- ・結婚の状況は、「結婚している」が28.8%、「結婚していたが離別・死別した」が3.6%、「結婚していない」が67.6%となっています。

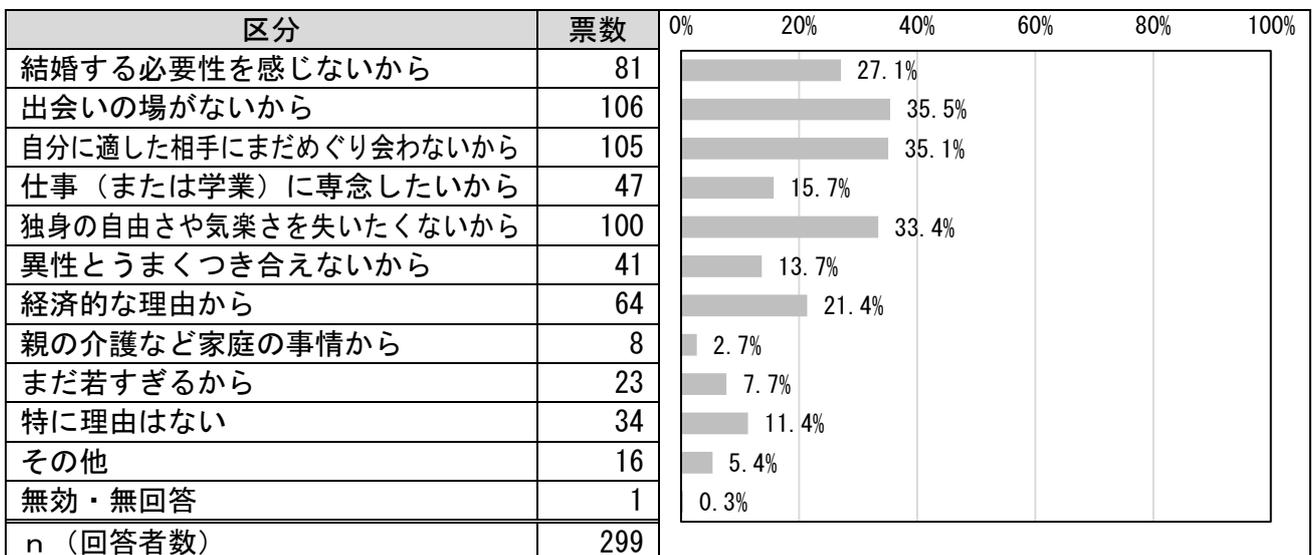


(2)現在独身でいる理由(複数回答※3つまで)

問5 結婚の状況で「2.結婚していたが離別・死別した」または「3.結婚していない」を選んだ方

問6 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- ・現在独身でいる理由は、「出会いの場がないから」が35.5%と最も多くなっており、次いで「自分に適した相手にまだめぐり会わないから」が35.1%、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」が33.4%、「結婚する必要性を感じないから」が27.1%、「経済的な理由から」が21.4%となっています。



性別×独身でいる理由

- ・性別の独身でいる理由は、「男性」は「出会いの場がないから」が最も多く 42.4%、「女性」は「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」が最も多く 38.6%、「男性」、「女性」とも次いで多いのが「自分に適した相手にまだめぐり会わないから」となっています。性別が「その他」は「出会いの場がないから」が最も多く 57.1%を占めています。
- ・独身でいる理由の性別の差異をみると、「経済的な理由から」は「男性」が 27.2%とやや多くなっていますが、「女性」は 16.9%に留まります。一方、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」は「女性」が 38.6%と多くなっていますが、「男性」は 27.2%となっています。

上段：票数 下段：割合	独身でいる理由												
	n (回答者数)	結婚する必要を感じないから	出会いの場がないから	自分に適した相手にまだめぐり会わないから	仕事(または学業)に専念したいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	異性とうまくつき合えないから	経済的な理由から	親の介護など家庭の事情から	まだ若すぎるから	特に理由はない	その他	無効・無回答
全体	299	81	106	105	47	100	41	64	8	23	34	16	1
	100.0%	27.1%	35.5%	35.1%	15.7%	33.4%	13.7%	21.4%	2.7%	7.7%	11.4%	5.4%	0.3%
男性	125	30	53	42	19	34	21	34	3	13	13	7	0
	100.0%	24.0%	42.4%	33.6%	15.2%	27.2%	16.8%	27.2%	2.4%	10.4%	10.4%	5.6%	0.0%
女性	166	49	49	60	28	64	18	28	5	10	20	8	0
	100.0%	29.5%	29.5%	36.1%	16.9%	38.6%	10.8%	16.9%	3.0%	6.0%	12.0%	4.8%	0.0%
その他※	7	1	4	2	0	1	2	2	0	0	1	1	1
	100.0%	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%

※その他(どちらともいえない・わからない・答えたくない)

年齢別×独身でいる理由

- ・年齢別の独身でいる理由は、どの年齢層も「出会いの場がないから」、「自分に適した相手にまだめぐり合わないから」が多くなっています。
- ・独身でいる理由の年齢別の差異をみると、「22～24歳」は「仕事（または学業）に専念したいから」が30.2%と多くなっており、「25～29歳」は「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」が40.5%、「経済的な理由から」が28.4%と多くなっており、「40歳以上」は「結婚する必要性を感じないから」が42.6%、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」が42.6%と多くなっています。

上段：票数 下段：割合	独身でいる理由												
	n (回答者数)	結婚する必要性を感じないから	出会いの場がないから	自分に適した相手にまだめぐり合わないから	仕事（または学業）に専念したいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	異性とうまくつき合えないから	経済的な理由から	親の介護など家庭の事情から	まだ若すぎるから	特に理由はない	その他	無効・無回答
全体	299	81	106	105	47	100	41	64	8	23	34	16	1
	100.0%	27.1%	35.5%	35.1%	15.7%	33.4%	13.7%	21.4%	2.7%	7.7%	11.4%	5.4%	0.3%
22～24歳	63	6	23	20	19	16	7	16	2	17	8	2	0
	100.0%	9.5%	36.5%	31.7%	30.2%	25.4%	11.1%	25.4%	3.2%	27.0%	12.7%	3.2%	0.0%
25～29歳	74	20	20	24	12	30	4	21	0	6	9	3	0
	100.0%	27.0%	27.0%	32.4%	16.2%	40.5%	5.4%	28.4%	0.0%	8.1%	12.2%	4.1%	0.0%
30～34歳	64	20	21	27	7	19	13	12	1	0	8	4	0
	100.0%	31.3%	32.8%	42.2%	10.9%	29.7%	20.3%	18.8%	1.6%	0.0%	12.5%	6.3%	0.0%
35～39歳	37	9	13	14	2	9	9	5	2	0	7	2	0
	100.0%	24.3%	35.1%	37.8%	5.4%	24.3%	24.3%	13.5%	5.4%	0.0%	18.9%	5.4%	0.0%
40歳以上	61	26	29	20	7	26	8	10	3	0	2	5	1
	100.0%	42.6%	47.5%	32.8%	11.5%	42.6%	13.1%	16.4%	4.9%	0.0%	3.3%	8.2%	1.6%

(3)結婚を勧められることの有無(単一回答)

問5 結婚の状況で「2.結婚していたが離別・死別した」または「3.結婚していない」を選んだ方

問7 あなたは周囲から結婚を勧められることがありますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・周囲から結婚を勧められことの有無は、勧められることが「よくある」が11.7%、勧められることが「たまにある」が52.5%と、64.2%が勧められることがあります。一方、勧められることが「全くない」は35.5%を占めています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
よくある	35	11.7%					
たまにある	157	52.5%					
全くない	106	35.5%					
無効・無回答	1	0.3%					
n (回答者数)	299						

(4)結婚の意思(単一回答)

問5 結婚の状況で「2.結婚していたが離別・死別した」または「3.結婚していない」を選んだ方

問8 あなたは将来、結婚しようと思えますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・結婚の意思は、結婚しようと思う・どちらかといえば思うが58.2%、結婚しようと思わない・どちらかといえば思わないが20.7%、「わからない」が20.7%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
思う・どちらかといえば思う	174	58.2%					
思わない・どちらかといえば思わない	62	20.7%					
わからない	62	20.7%					
無効・無回答	1	0.3%					
n (回答者数)	299						

性別×結婚の意思

- ・性別の結婚の意思は、結婚しようと思う・どちらかといえば思うが「男性」は63.2%となっていますが、「女性」は56.0%となっており、「女性」の「思う・どちらかといえば思う」の割合がやや少なくなっています。

上段：票数 下段：割合	結婚の意思				
	n (回答者数)	思う・どちらか といえば思う	思わない・ どちらかといえ ば思わない	わからない	無効・無回答
全体	299	174	62	62	1
	100.0%	58.2%	20.7%	20.7%	0.3%
男性	125	79	24	22	0
	100.0%	63.2%	19.2%	17.6%	0.0%
女性	166	93	37	35	1
	100.0%	56.0%	22.3%	21.1%	0.6%
その他*	7	2	1	4	0
	100.0%	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%

※その他 (どちらともいえない・わからない・答えたくない)

職業×結婚の意思

- ・職業別の結婚の意思は、結婚しようと思う・どちらかといえば思うが「正規社員 (自営業を含む)」は62.2%、「派遣社員」は62.5%、「学生」は65.0%と多くなっており、「パート、アルバイト又は内職」は42.1%、「非就業」は41.7%とやや多くなっています。一方、結婚しようと思わない・どちらかといえば思わないが「契約社員」は60.0%と多くなっています。

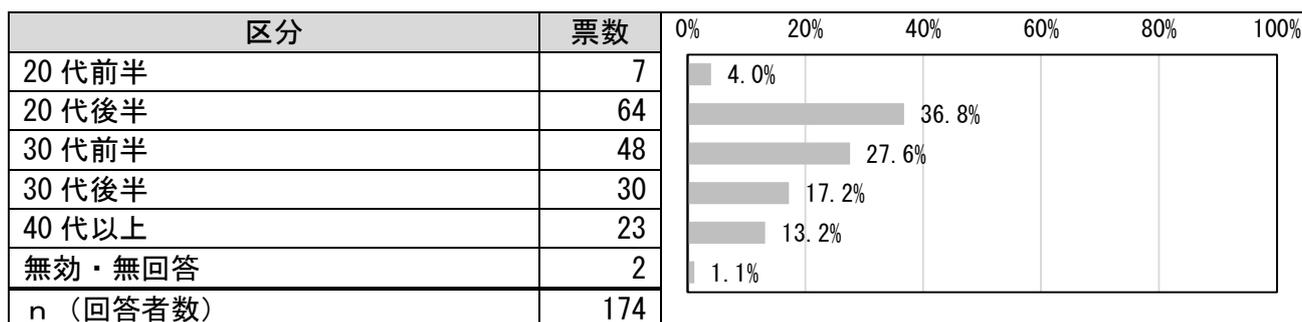
上段：票数 下段：割合	結婚の意思				
	n（回答者数）	思う・どちらか といえば思う	思わない・ どちらかといえ ば思わない	わからない	無効・無回答
全体	299	174	62	62	1
	100.0%	58.2%	20.7%	20.7%	0.3%
正規社員 (自営業を含む)	222	138	40	44	0
	100.0%	62.2%	18.0%	19.8%	0.0%
契約社員	15	4	9	1	1
	100.0%	26.7%	60.0%	6.7%	6.7%
派遣社員	8	5	0	3	0
	100.0%	62.5%	0.0%	37.5%	0.0%
パート、アルバイト 又は内職	19	8	5	6	0
	100.0%	42.1%	26.3%	31.6%	0.0%
非就業	12	5	3	4	0
	100.0%	41.7%	25.0%	33.3%	0.0%
学生	20	13	3	4	0
	100.0%	65.0%	15.0%	20.0%	0.0%
その他	3	1	2	0	0
	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%

(5)結婚したい年齢(単一回答)

問8 結婚の意思で「1. 思う・どちらかといえば思う」を選んだ方

問9 あなたは何歳ぐらいで結婚したいですか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・結婚したい年齢は、「20代後半」が36.8%と最も多くなっており、次いで「30代前半」が27.6%、「30代後半」が17.2%となっています。



性別×結婚したい年齢

- ・性別の結婚したい年齢は、「男性」は「20代後半」が31.6%、「30代前半」が30.4%も多くなっており、「女性」は「20代後半」が41.9%と多くなっています。「男性」に比べ「女性」は若い年齢で結婚したい意思が多くなっています。

上段：票数 下段：割合	結婚したい年齢						
	n (回答者数)	20代前半	20代後半	30代前半	30代後半	40代以上	無効・無回答
全体	174	7	64	48	30	23	2
	100.0%	4.0%	36.8%	27.6%	17.2%	13.2%	1.1%
男性	79	0	25	24	15	15	0
	100.0%	0.0%	31.6%	30.4%	19.0%	19.0%	0.0%
女性	93	7	39	23	15	7	2
	100.0%	7.5%	41.9%	24.7%	16.1%	7.5%	2.2%
その他※	2	0	0	1	0	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%

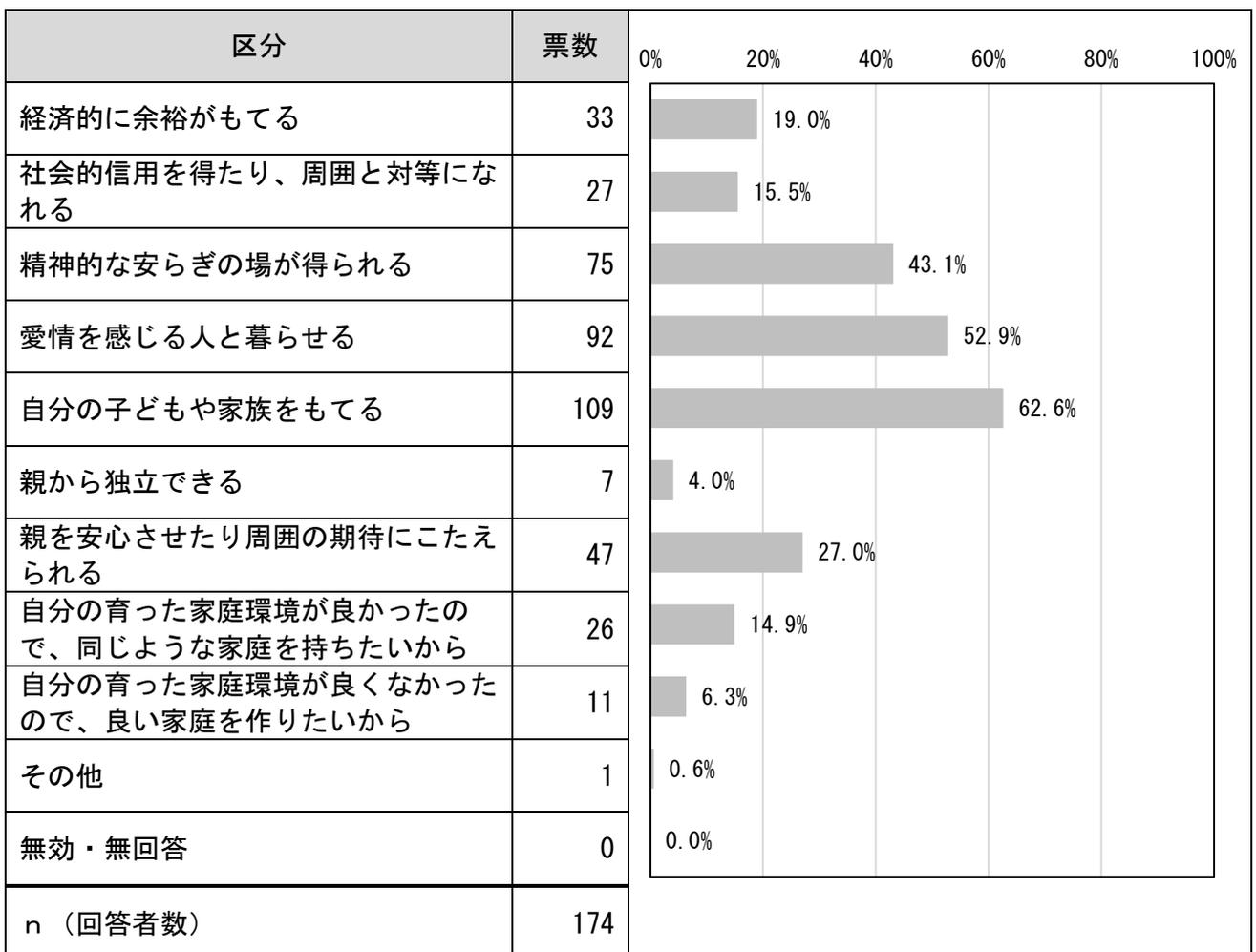
※その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）

(6)結婚したい理由(複数回答※3つまで)

問8 結婚の意思で「1. 思う・どちらかといえば思う」を選んだ方

問10 あなたが結婚しようと思う理由は何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- ・結婚しようと思う理由は、「自分の子どもや家族をもてる」が最も多く62.6%を占めており、次いで「愛情を感じる人と暮らせる」が52.9%、「精神的な安らぎの場が得られる」が43.1%、「親を安心させたり周囲の期待にこたえられる」が27.0%となっています。

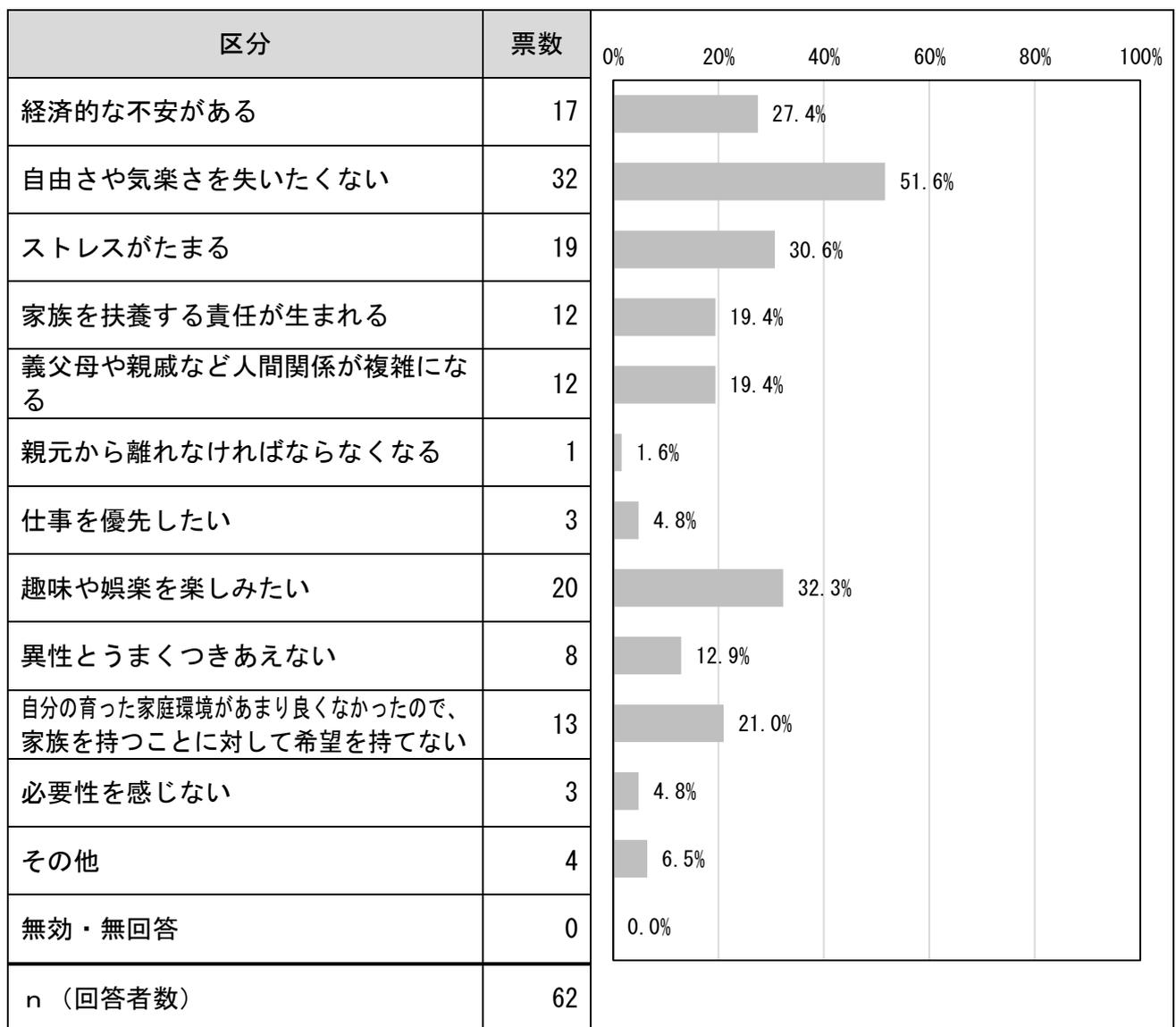


(7)結婚しようと思わない理由(複数回答※3つまで)

問 8 結婚の意思で「2. 思わない・どちらかといえば思わない」を選んだ方

問 11 あなたが結婚しようと思わない理由は何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- ・結婚しようと思わない理由は、「自由さや気楽さを失いたくない」が最も多く 51.6%を占めており、次いで「趣味や娯楽を楽しみたい」が 32.3%、「ストレスがたまる」が 30.6%、「経済的な不安がある」が 27.4%となっています。



(8)結婚相手を見つけるための活動の有無(単一回答)

問5 結婚の状況で「2.結婚していたが離別・死別した」または「3.結婚していない」を選んだ方

問12 あなたは意識的に結婚相手を見つけるために何かしていますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・結婚相手を見つけるための活動の有無は、「している」が20.7%、「していない」が78.9%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
している	62						
していない	236						
無効・無回答	1	0.3%					
n (回答者数)	299						

(9)結婚相手を見つけるための活動内容(複数回答)

問12 結婚相手を見つけるための活動の有無で「1.している」を選んだ方

問13 それはどのようなことですか。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・結婚相手を見つけるための活動内容は、「マッチングアプリ等のSNSを利用している」が67.7%と最も多くなっており、次いで「友人・知人に紹介してもらっている」が33.9%、「趣味・サークル活動などに積極的に参加している」が22.6%となっています。

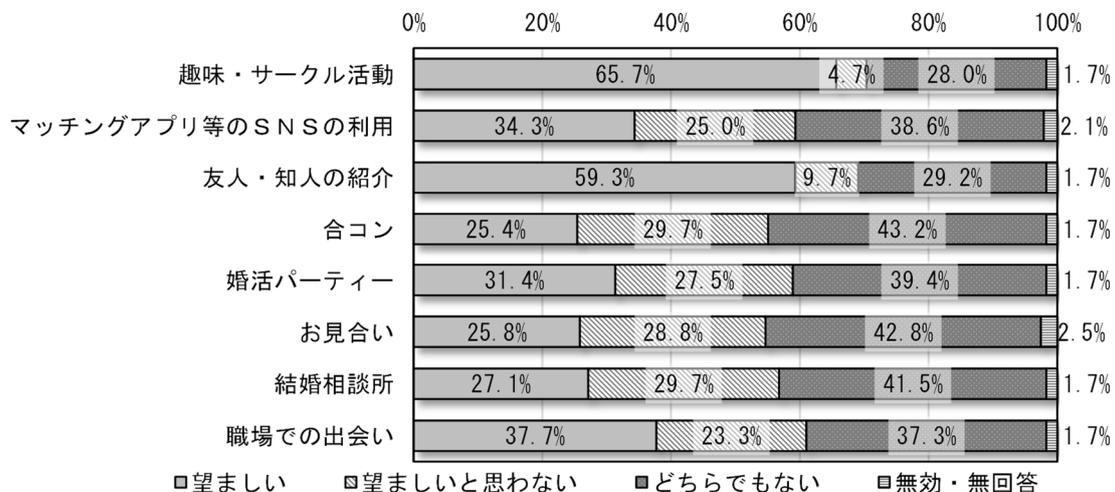
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
趣味・サークル活動などに積極的に参加している	14	22.6%					
マッチングアプリ等のSNSを利用している	42	67.7%					
友人・知人に紹介してもらっている	21	33.9%					
合コンに参加している	5	8.1%					
婚活パーティーに参加している	11	17.7%					
お見合いをしている	3	4.8%					
結婚相談所に登録している	3	4.8%					
その他	1	1.6%					
無効・無回答	3	4.8%					
n (回答者数)	62						

(10)結婚のための出会いのきっかけに対する認識

問 12 結婚相手を見つけるための活動の有無で「2. していない」を選んだ方

問 14 今後、結婚する場合の出会いのきっかけとして、何が望ましいと思いますか。それぞれについてあてはまるもの1つをお選びください。

- ・結婚する場合の出会いのきっかけとして「望ましい」の割合が多いのは、「趣味・サークル活動」(65.7%)、「友人・知人の紹介」(59.3%)、「職場での出会い」(37.7%)、「マッチングアプリ等のSNSの利用」(34.3%)となっています。
- ・結婚する場合の出会いのきっかけとして「望ましいと思わない」の割合がやや多いのは、「合コン」(29.7%)、「婚活パーティー」(27.5%)、「お見合い」(28.8%)となっています。



n (回答者数) = 236

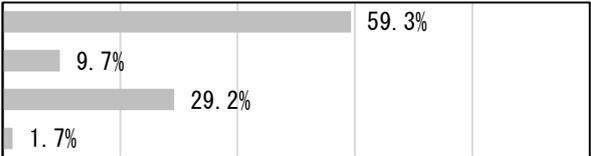
趣味・サークル活動(単一回答)

区分	票数	割合
望ましい	155	65.7%
望ましいと思わない	11	4.7%
どちらでもない	66	28.0%
無効・無回答	4	1.7%
n (回答者数)	236	

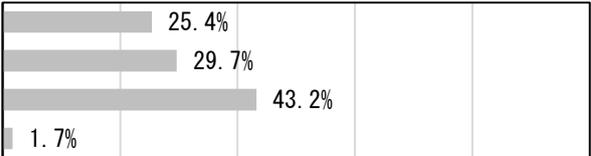
マッチングアプリ等のSNSの利用(単一回答)

区分	票数	割合
望ましい	81	34.3%
望ましいと思わない	59	25.0%
どちらでもない	91	38.6%
無効・無回答	5	2.1%
n (回答者数)	236	

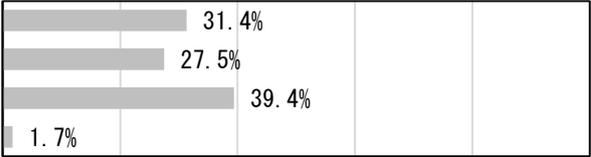
友人・知人の紹介(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
望ましい	140						
望ましいと思わない	23						
どちらでもない	69						
無効・無回答	4						
n (回答者数)	236						

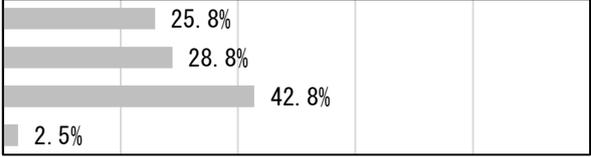
合コン(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
望ましい	60						
望ましいと思わない	70						
どちらでもない	102						
無効・無回答	4						
n (回答者数)	236						

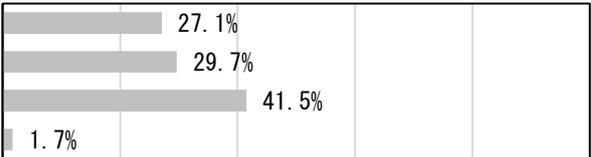
婚活パーティー(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
望ましい	74						
望ましいと思わない	65						
どちらでもない	93						
無効・無回答	4						
n (回答者数)	236						

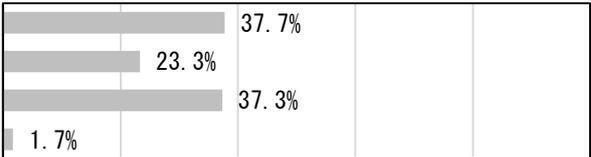
お見合い(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
望ましい	61						
望ましいと思わない	68						
どちらでもない	101						
無効・無回答	6						
n (回答者数)	236						

結婚相談所(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
望ましい	64						
望ましいと思わない	70						
どちらでもない	98						
無効・無回答	4						
n (回答者数)	236						

職場での出会い(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
望ましい	89						
望ましいと思わない	55						
どちらでもない	88						
無効・無回答	4						
n (回答者数)	236						

4 子育て

(1)子どもの希望(単一回答)

問 15 あなたはこれから子どもを持ちたいと思いますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・子どもの希望は、子どもを「持ちたいと思う」が37.4%、子どもを「持ちたいと思うが持つことに不安がある」が32.6%となっており、子どもを持ちたいと思う方が70.0%となっています。
- ・一方、子どもを「持ちたいと思わない」が15.7%を占めております。また、「わからない」が13.8%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
持ちたいと思う	157	37.4%					
持ちたいと思うが持つことに不安がある	137	32.6%					
持ちたいと思わない	66	15.7%					
わからない	58	13.8%					
無効・無回答	2	0.5%					
n (回答者数)	420						

職業×子どもの希望

- ・職業別の子どもの希望は、子どもを「持ちたいと思う」は「正規社員（自営業を含む）」が41.3%と多くなっています。
- ・子どもを「持ちたいと思うが持つことに不安がある」は「派遣社員」が55.6%、「パート、アルバイト又は内職」が36.7%、「非就業」が31.6%、「学生」が40.0%と多くなっています。
- ・子どもを「持ちたいと思わない」は「契約社員」が40.0%と多くなっています。

上段：票数 下段：割合	子どもの希望					
	n (回答者数)	持ちたいと思う	持ちたいと思うが持つことに不安がある	持ちたいと思わない	わからない	無効・無回答
全体	420	157	137	66	58	2
	100.0%	37.4%	32.6%	15.7%	13.8%	0.5%
正規社員 (自営業を含む)	317	131	104	45	36	1
	100.0%	41.3%	32.8%	14.2%	11.4%	0.3%
契約社員	20	5	3	8	4	0
	100.0%	25.0%	15.0%	40.0%	20.0%	0.0%
派遣社員	9	1	5	2	1	0
	100.0%	11.1%	55.6%	22.2%	11.1%	0.0%
パート、アルバイト 又は内職	30	7	11	6	6	0
	100.0%	23.3%	36.7%	20.0%	20.0%	0.0%
非就業	19	4	6	4	4	1
	100.0%	21.1%	31.6%	21.1%	21.1%	5.3%
学生	20	7	8	0	5	0
	100.0%	35.0%	40.0%	0.0%	25.0%	0.0%
その他	5	2	0	1	2	0
	100.0%	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%

(2)子どもの希望人数(単一回答)

問 15 子どもの希望 で「1. 持ちたいと思う」または「2. 持ちたいと思うが持つことに不安がある」を選んだ方

問 16 あなたの理想とする子どもの人数は何人ですか。あてはまるもの1つをお選びください。

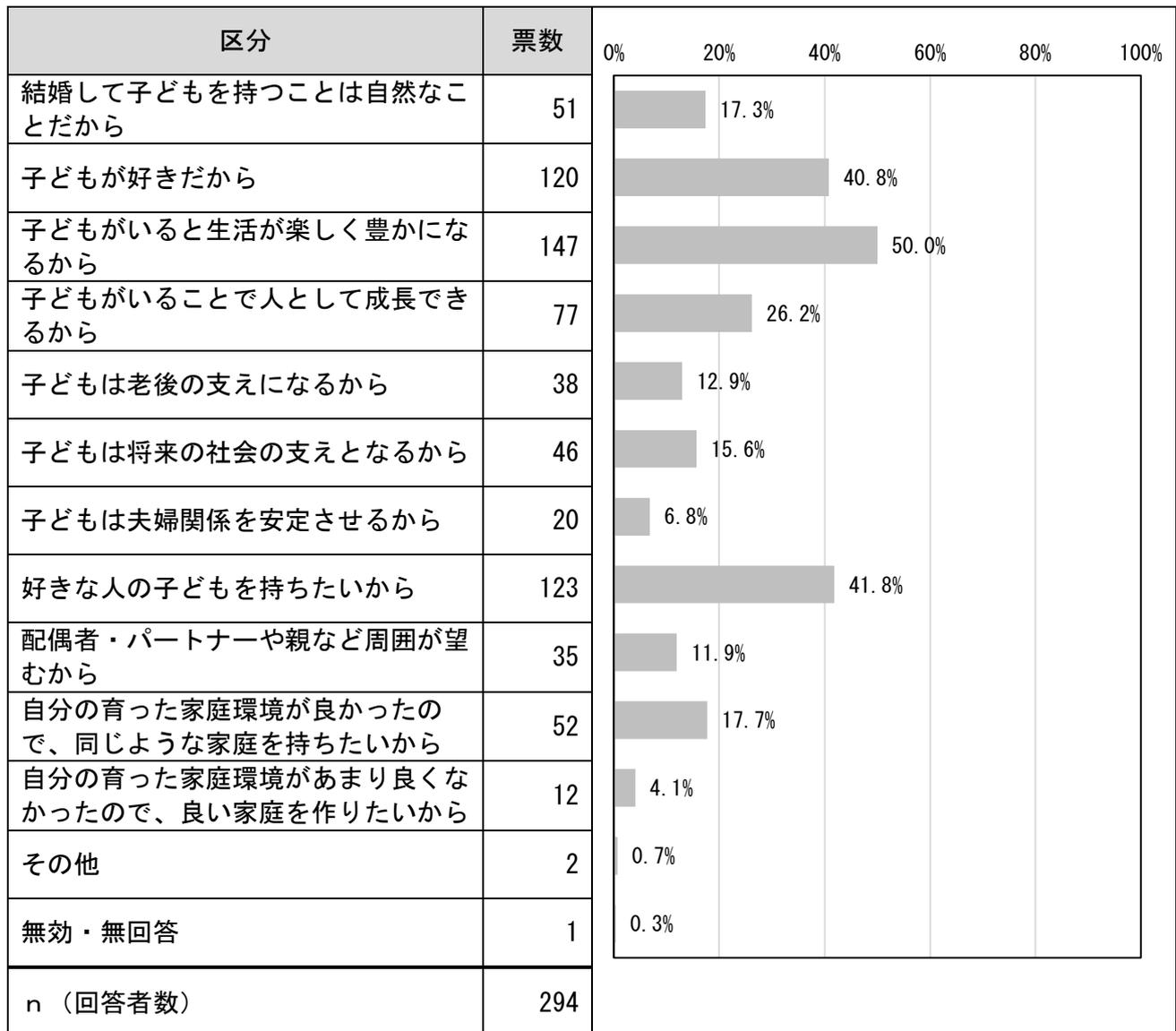
- ・理想とする子どもの人数は、「2人」が最も多く 66.7%を占めており、続いて「3人」が 21.1%、「1人」が 11.2%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1人	33	11.2%					
2人	196	66.7%					
3人	62	21.1%					
4人	0	0.0%					
5人以上	2	0.7%					
無効・無回答	1	0.3%					
n (回答者数)	294						

(3)子どもを持ちたい理由(複数回答※3つまで)

問 15 子どもの希望 で「1. 持ちたいと思う」または「2. 持ちたいと思うが持つことに不安がある」を選んだ方
 問 17 子どもを持ちたいと思うのはなぜですか。あてはまるもの3つまでお選びください。

- ・子どもを持ちたいと思う理由は、「子どもがいると生活が楽しく豊かになるから」が50.0%と最も多くなっており、次いで「好きな人の子どもを持ちたいから」が41.8%、「子どもが好きだから」が40.8%、「子どもがいることで人として成長できるから」が26.2%となっています。

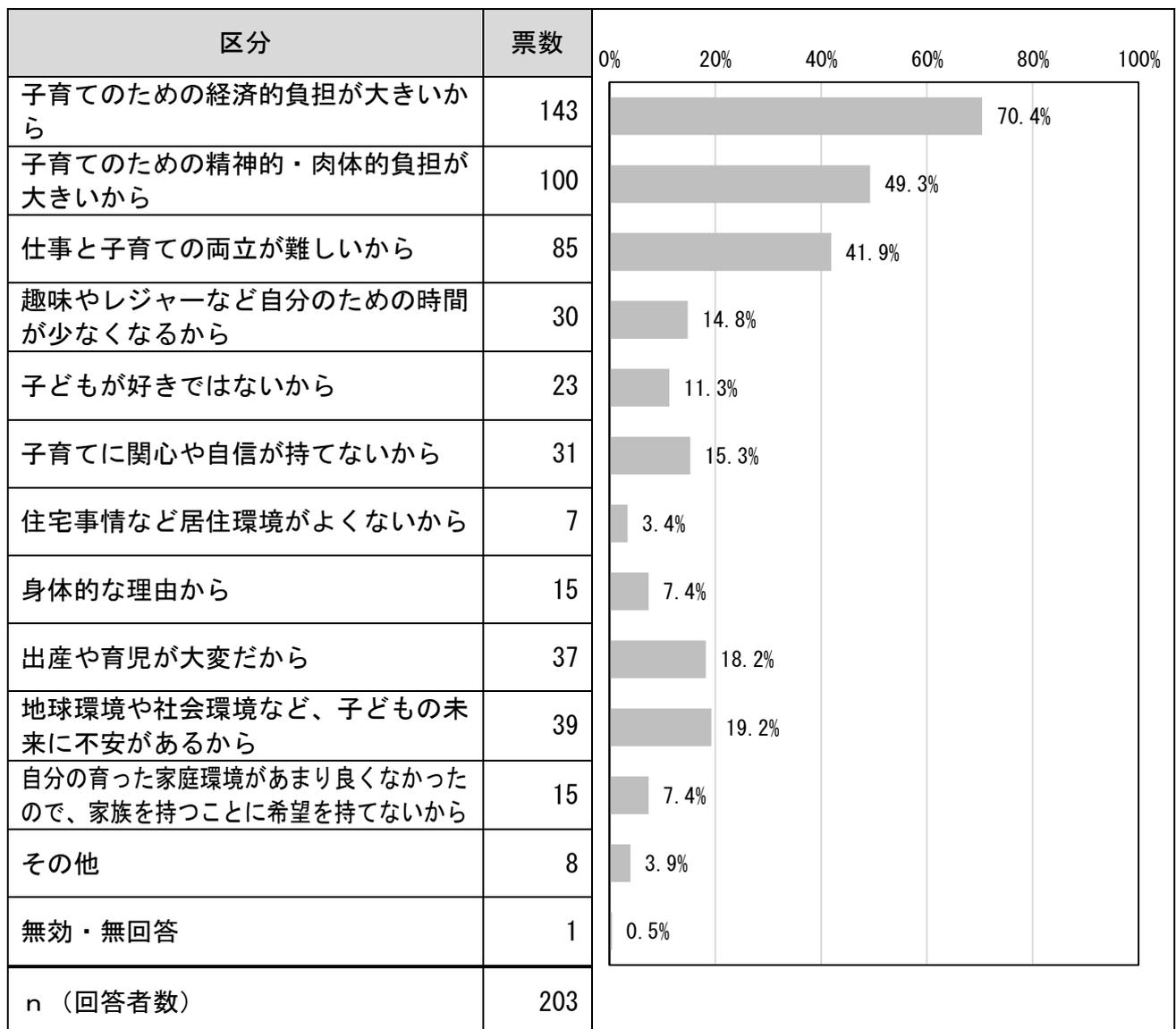


(4)子どもを持つことに不安がある、持ちたいと思わない理由(複数回答※3つまで)

問 15 で「2. 持ちたいと思うが持つことに不安がある」または「3. 持ちたいと思わない」を選んだ方

問 18 あなたが「子どもを持ちたいと思うが持つことに不安がある」または「子どもを持ちたいと思わない」理由は何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- ・子どもを持ちたいと思うが持つことに不安がある、持ちたいと思わない理由は、「子育てのための経済的負担が大きいから」が最も多く70.4%を占めており、次いで「子育てのための精神的・肉体的負担が大きいから」が49.3%、「仕事と子育ての両立が難しいから」が41.9%となっています。



(5) 幼児や赤ちゃんとふれあう機会の有無(単一回答)

問 19 あなたは中学生の頃から現在にかけて、小学校入学前の幼児や赤ちゃんとふれあう機会がありましたか。あてはまるもの1つをお選びください。また、1または2を選んだ方は、具体例を教えてください。

- ・中学生の頃から現在にかけて、小学校入学前の幼児や赤ちゃんとふれあう機会の有無は、ふれあう機会が「よくあった」は29.5%、ふれあう機会が「たまにあった」は47.9%となっており、ふれあう機会があった方は77.4%を占めています。
- ・一方、ふれあう機会が「全くなかった」は22.4%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
よくあった	124	29.5%					
たまにあった	201	47.9%					
全くなかった	94	22.4%					
無効・無回答	1	0.2%					
n (回答者数)	420						

幼児や赤ちゃんとふれあう機会の有無×子どもの希望

- ・小学校入学前の幼児や赤ちゃんとふれあう機会別の子どもの希望は、幼児や赤ちゃんとふれあう機会が「よくあった」方は子どもを「持ちたいと思う」が41.9%と多くなっています。また、幼児や赤ちゃんとふれあう機会が「たまにあった」方は子どもを「持ちたいと思う」が39.8%と多くなっています。
- ・幼児や赤ちゃんとふれあう機会が「全くなかった」方は子どもを「持ちたいと思うが持つことに不安がある」が31.9%と最も多くなっており、子どもを「持ちたいと思わない」が25.5%と他と比べて占める割合が多くなっています。
- ・幼児や赤ちゃんとふれあう機会が多いほど、子どもを希望する割合が多くなっています。

上段：票数 下段：割合	子どもの希望					
	n (回答者数)	持ちたいと思う	持ちたいと思うが持つことに不安がある	持ちたいと思わない	わからない	無効・無回答
全体	420	157	137	66	58	2
	100.0%	37.4%	32.6%	15.7%	13.8%	0.5%
よくあった	124	52	41	16	14	1
	100.0%	41.9%	33.1%	12.9%	11.3%	0.8%
たまにあった	201	80	65	26	29	1
	100.0%	39.8%	32.3%	12.9%	14.4%	0.5%
全くなかった	94	25	30	24	15	0
	100.0%	26.6%	31.9%	25.5%	16.0%	0.0%

小学校入学前の幼児や赤ちゃんとふれあう機会の具体例

問 19 幼児や赤ちゃんとふれあう機会の有無で「1・2」(あった)を選んだ方

- ・中学生の頃から現在にかけて、小学校入学前の幼児や赤ちゃんとふれあう機会の具体例は、「親戚」、「甥・姪」、「いとこ」、「弟・妹」、「いとこの子ども」の親族が多くなっており、合わせて64.0%を占めています。その他では、「友人・知人の子ども」(17.2%)、「仕事・アルバイト」(11.4%)、「学校の授業」(8.9%)が多くなっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
弟・妹	26	8.0%					
いとこ	27	8.3%					
甥・姪	69	21.2%					
いとこの子ども	13	4.0%					
親戚	73	22.5%					
友人・知人の子ども	56	17.2%					
職場の人の子ども	7	2.2%					
地域の子ども	10	3.1%					
学校の授業	29	8.9%					
仕事・アルバイト	37	11.4%					
ボランティア	9	2.8%					
無効・無回答	23	7.1%					
n (回答者数)	325						

5 ワーク・ライフ・バランス

(1)家庭内での家事分担(単一回答)

問 20 あなたの家庭での男女の家事分担は、次のうちどのような形ですか。あてはまるもの1つをお選びください。(現在、一人暮らしの場合は、あなたの育った家庭でお答えください。)

- ・家庭内での家事分担は、「ほぼ女性」が最も多く48.1%となっており、次いで「男女半々」が35.5%、「すべて女性」が13.6%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
すべて男性	3	0.7%					
ほぼ男性	6	1.4%					
男女半々	149	35.5%					
ほぼ女性	202	48.1%					
すべて女性	57	13.6%					
無効・無回答	3	0.7%					
n (回答者数)	420						

(2)希望する家庭内での家事・育児の分担割合

問 21 未婚・既婚に限らず、将来子どもがいると仮定しておうかがいします。あなたの家庭で、男女それぞれの家事・育児に関わる割合について、あなたが「希望」する割合をあてはまるもの1つをお選びください。

- ・将来子どもがいると仮定した場合の希望の「家事」の分担割合は、「男女半々」が86.7%、「ほぼ女性」が10.5%となっています。
- ・将来子どもがいると仮定した場合の希望の「育児」の分担割合は、「男女半々」が87.9%、「ほぼ女性」が10.7%となっています。
- ・希望する家庭内での分担割合は、「家事」も「育児」も「男女半々」が最も多く約9割を占めています。

家事(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
すべて男性	1	0.2%					
ほぼ男性	5	1.2%					
男女半々	364	86.7%					
ほぼ女性	44	10.5%					
すべて女性	5	1.2%					
無効・無回答	1	0.2%					
n (回答者数)	420						

育児(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
すべて男性	0						
ほぼ男性	3						
男女半々	369						
ほぼ女性	45						
すべて女性	2						
無効・無回答	1						
n (回答者数)	420						

(3)子どもを持った場合の働き方(複数回答※3つまで)

問 22 子どもを持った場合、あなたは働き方をどのようにしたいですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- ・子どもを持った場合の働き方は、「職場の理解を得ながら、仕事はそのまま続けたい」が69.3%と最も多くなっており、次いで「様々な子育て支援制度を活用して、仕事を続けたい」が49.5%、「祖父母等の親族に育児の支援をしてもらい、仕事はそのまま続けたい」が30.5%となっています。「仕事を続けたい」の割合が多くなっています。

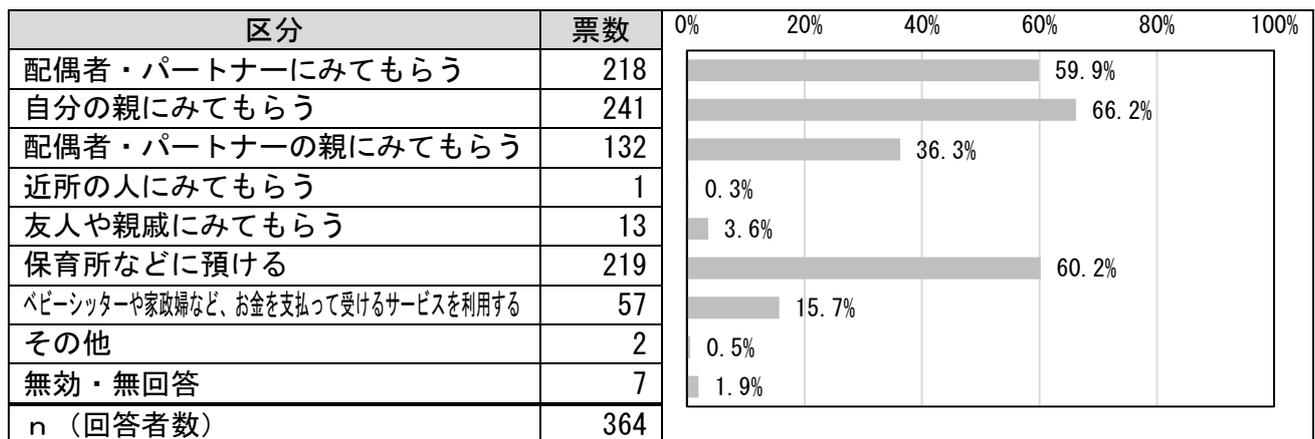
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
職場の理解を得ながら、仕事はそのまま続けたい	291						
配偶者・パートナーに育児をしてもらい、仕事はそのまま続けたい	58						
祖父母等の親族に育児の支援をしてもらい、仕事はそのまま続けたい	128						
様々な子育て支援制度を活用して、仕事を続けたい	208						
子育てしながら続けられる仕事又は職種に変わって、仕事を続けたい	77						
仕事を辞め、手がかからなくなったら再び働きたい	42						
仕事を続けたいが、今の会社では難しいので退職する	25						
育児に専念することが子どものためなので仕事は辞める	15						
結婚した時点で専業主夫(主婦)になり、育児も行う	10						
今は分からない	31						
その他	2						
無効・無回答	1						
n (回答者数)	420						

(4)仕事で子どもの面倒がみられないときの対応(複数回答※3つまで)

問 22 子どもを持った場合の働き方で「1~5」(仕事を続けたい)を選んだ方

問 23 仕事で子どもの面倒がみられないとき、どうしようと考えていますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

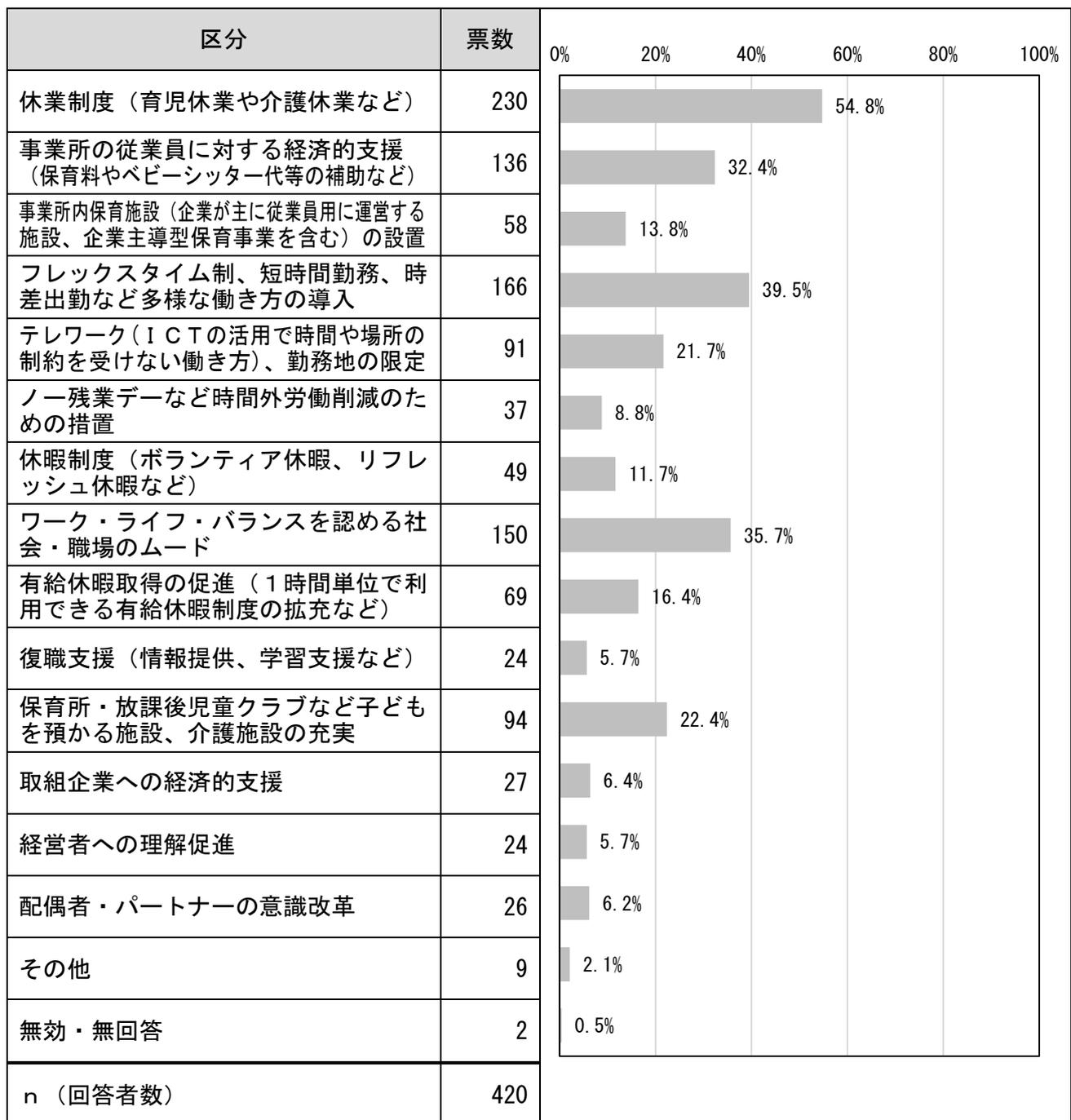
- ・仕事で子どもの面倒がみられないときの対応は、「自分の親にみてもらう」が最も多く66.2%を占めており、次いで「保育所などに預ける」が60.2%、「配偶者・パートナーにみてもらう」が59.9%、「配偶者・パートナーの親にみてもらう」が36.3%となっています。



(5)ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なもの(複数回答※3 つまで)

問 24 ワーク・ライフ・バランスを実現するために、必要なものは何だと思えますか。主なものを3 つまでお選びください。

- ・ワーク・ライフ・バランスを実現するために必要なものは、「休業制度（育児休業や介護休業など）」が最も多く 54.8%となっており、次いで「フレックスタイム制、短時間勤務、時差出勤など多様な働き方の導入」が 39.5%、「ワーク・ライフ・バランスを認める社会・職場のムード」が 35.7%となっています。



(6)勤務先の子育て環境(単一回答)

問 25 あなたの勤務先は、子育てしやすい環境だと思いますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・勤務先の子育て環境は、子育てしやすい環境だと「思う」が16.4%、「やや思う」が26.9%となっており、勤務先は子育てしやすい環境だと思う方が43.3%となっています。
- ・一方、子育てしやすい環境だと「あまり思わない」が22.4%、「思わない」が15.5%となっており、勤務先は子育てしやすい環境だと思わない方が37.9%となっています。
- ・また、「わからない」が8.6%、「現在、働いていない」が9.8%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
思う	69	16.4%					
やや思う	113	26.9%					
あまり思わない	94	22.4%					
思わない	65	15.5%					
わからない	36	8.6%					
現在、働いていない	41	9.8%					
無効・無回答	2	0.5%					
n (回答者数)	420						

勤務先の子育て環境×子どもの希望

- ・勤務先の子育て環境別の子どもの希望は、子育てしやすい環境だと「思う」方は子どもを「持ちたいと思う」が46.4%と多くなっています。
- ・一方、子育てしやすい環境だと「あまり思わない」方は子どもを「持ちたいと思わない」が20.2%、子育てしやすい環境だと「思わない」方は子どもを「持ちたいと思わない」が18.5%とやや多くなっています。

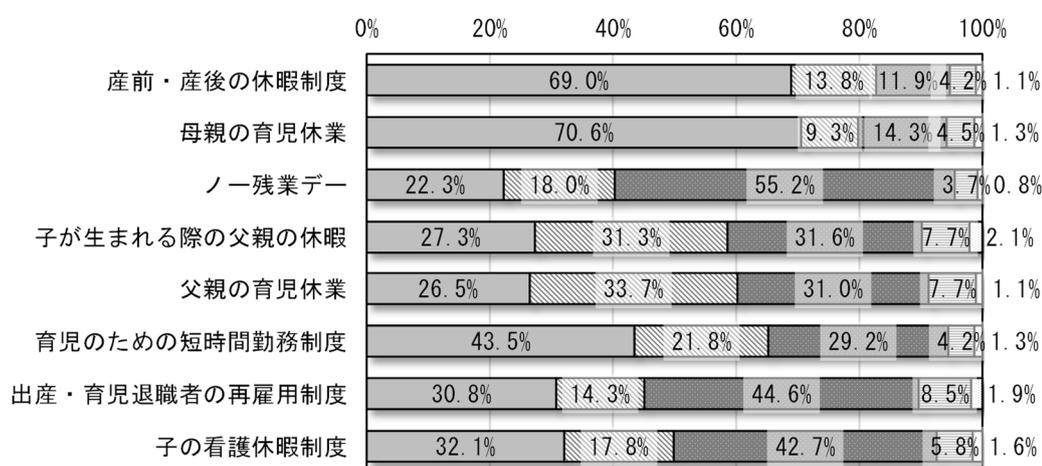
上段：票数 下段：割合	子どもの希望					
	n (回答者数)	持ちたいと思う	持ちたいと思うが持つことに不安がある	持ちたいと思わない	わからない	無効・無回答
全体	420	157	137	66	58	2
	100.0%	37.4%	32.6%	15.7%	13.8%	0.5%
思う	69	32	17	12	8	0
	100.0%	46.4%	24.6%	17.4%	11.6%	0.0%
やや思う	113	46	43	11	12	1
	100.0%	40.7%	38.1%	9.7%	10.6%	0.9%
あまり思わない	94	39	30	19	6	0
	100.0%	41.5%	31.9%	20.2%	6.4%	0.0%
思わない	65	21	21	12	11	0
	100.0%	32.3%	32.3%	18.5%	16.9%	0.0%
わからない	36	7	12	6	11	0
	100.0%	19.4%	33.3%	16.7%	30.6%	0.0%
現在、働いていない	41	12	14	5	9	1
	100.0%	29.3%	34.1%	12.2%	22.0%	2.4%

(7)勤務先での子育て支援制度等の利用状況

現在、働いている方

問 26 あなたの勤務先での、下記ア～クの各制度の利用状況等について、それぞれあてはまるものをお選びください。

- ・勤務先での子育て支援制度の利用状況は、「利用されている」が多い制度は、「母親の育児休業」(70.6%)、「産前・産後の休暇制度」(69.0%)、「育児のための短時間勤務制度」(43.5%)となっています。
- ・「あるが利用されていない」がやや多い制度は、「父親の育児休業」(33.7%)、「子が生まれる際の父親の休暇」(31.3%)となっています。
- ・「ないと思う」が多い制度は、「ノー残業デー」(55.2%)、「出産・育児退職者の再雇用制度」(44.6%)、「子の看護休暇制度」(42.7%)となっています。



□利用されている □あるが利用されていない (利用しづらい) □ないと思う □その他 □無効・無回答

n (回答者数) = 377

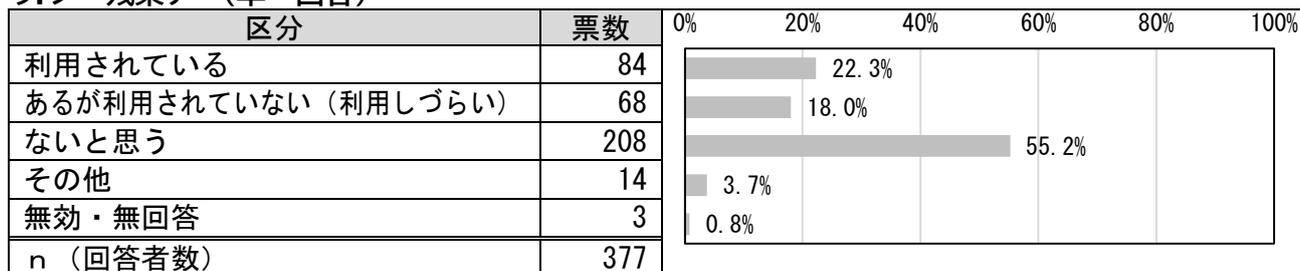
ア. 産前・産後の休暇制度(単一回答)

区分	票数	割合
利用されている	260	69.0%
あるが利用されていない (利用しづらい)	52	13.8%
ないと思う	45	11.9%
その他	16	4.2%
無効・無回答	4	1.1%
n (回答者数)	377	

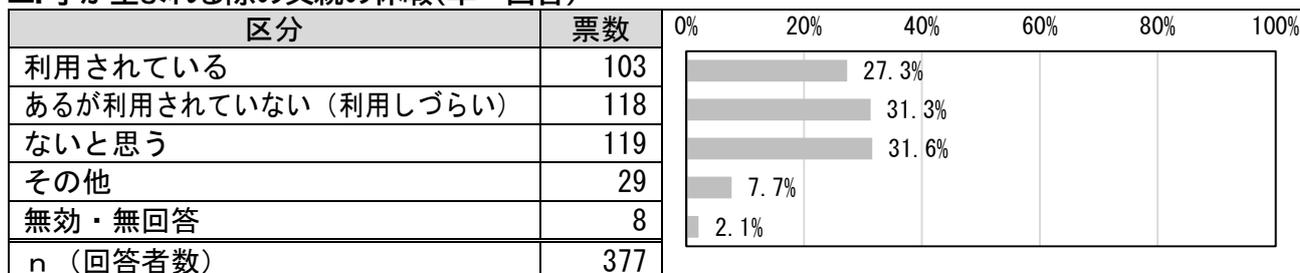
イ. 母親の育児休業(単一回答)

区分	票数	割合
利用されている	266	70.6%
あるが利用されていない (利用しづらい)	35	9.3%
ないと思う	54	14.3%
その他	17	4.5%
無効・無回答	5	1.3%
n (回答者数)	377	

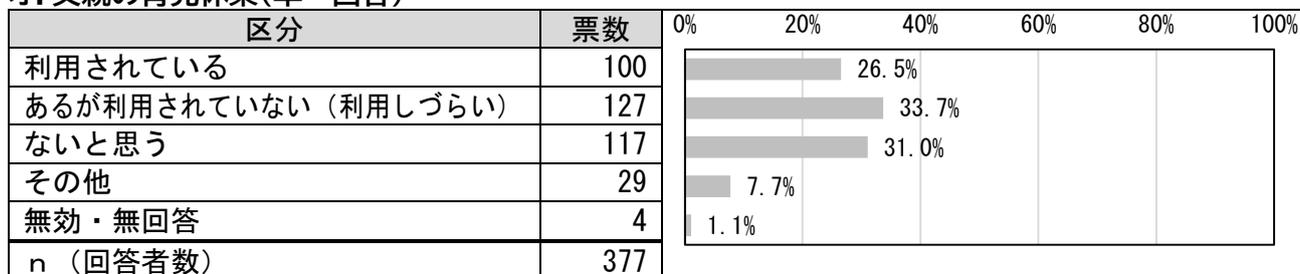
ウ. ノー残業デー(単一回答)



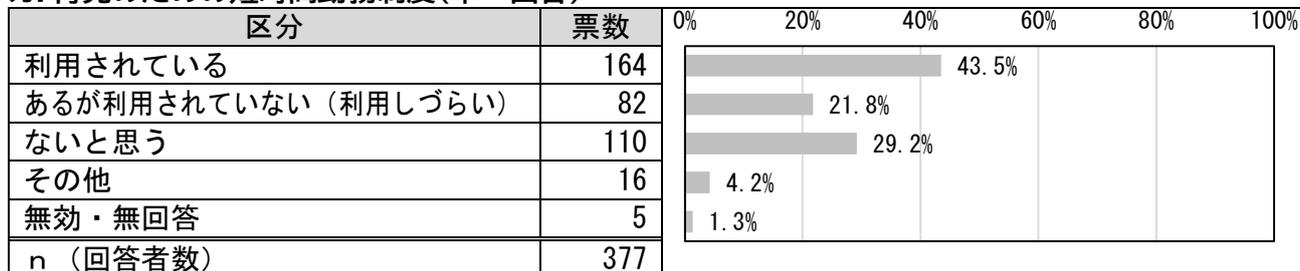
エ. 子が生まれる際の父親の休暇(単一回答)



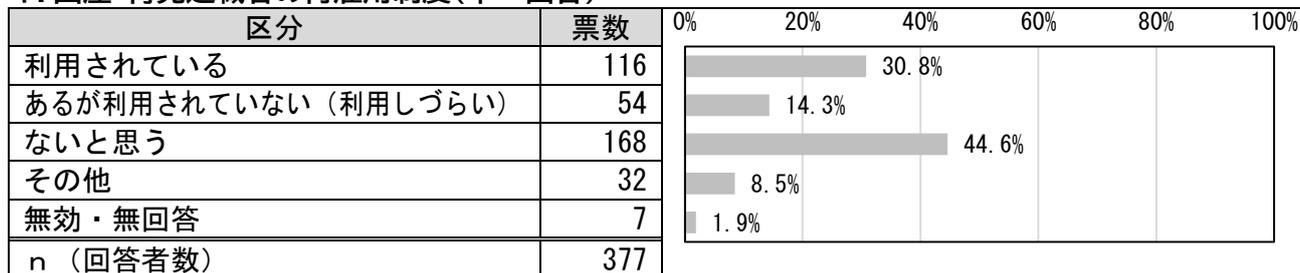
オ. 父親の育児休業(単一回答)



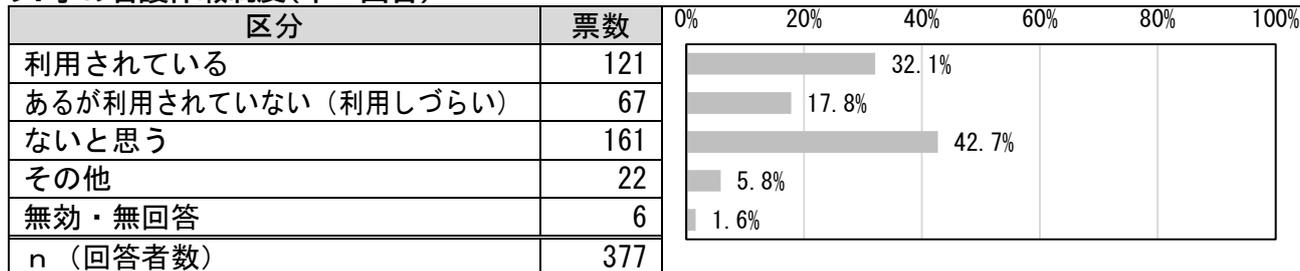
カ. 育児のための短時間勤務制度(単一回答)



キ. 出産・育児退職者の再雇用制度(単一回答)



ク. 子の看護休暇制度(単一回答)



6 情報の入手先

(1)金沢市の事業の情報の入手先(複数回答※3つまで)

問27 あなたは、金沢市が実施する事業の情報をどのように得ていますか。主なものを3つまでお選びください。

- ・金沢市が実施する事業の情報の入手先は、「市の公式LINEやX(旧Twitter)などのSNS」が最も多く43.1%を占めており、次いで「市のホームページ」が26.7%、「親族(親、兄弟姉妹など)」が20.0%となっています。
- ・一方、「情報の入手先がない」が13.8%、「情報の入手手段がわからない」が14.3%を占めています。

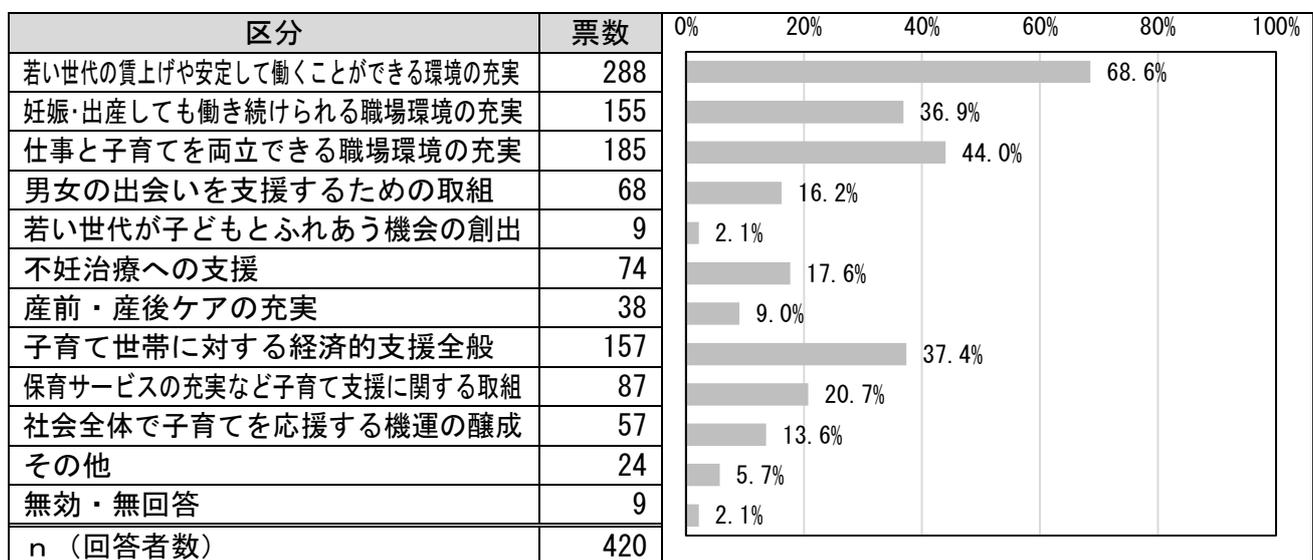
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
親族(親、兄弟姉妹など)	84	20.0%					
隣近所の人、知人・友人	54	12.9%					
市役所や市の機関の窓口	28	6.7%					
市の公式LINEやX(旧Twitter)などのSNS	181	43.1%					
市のホームページ	112	26.7%					
市の新聞広報	39	9.3%					
市の広報以外のインターネット、アプリ	39	9.3%					
テレビ、ラジオ	69	16.4%					
コミュニティ誌・フリーペーパー	43	10.2%					
回覧板	11	2.6%					
情報の入手先がない	58	13.8%					
情報の入手手段がわからない	60	14.3%					
その他	3	0.7%					
無効・無回答	2	0.5%					
n(回答者数)	420						

7 少子化対策

(1)少子化に歯止めをかけるための重要な取組(複数回答※3つまで)

問28 あなたは少子化に歯止めをかけるため、どのような取組が重要だと考えますか。主なものを3つまでお選びください。

- ・少子化に歯止めをかけるための重要な取組は、「若い世代の賃上げや安定して働くことができる環境の充実」が最も多く68.6%となっており、次いで「仕事と子育てを両立できる職場環境の充実」が44.0%、「子育て世帯に対する経済的支援全般」が37.4%、「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の充実」が36.9%となっています。



8 まちへの親しみ・定住

(1)金沢市への愛着、親しみの有無(単一回答)

問29 あなたは金沢市に愛着や親しみがありますか。

- ・金沢市への愛着や親しみの有無は、「ある」が48.1%、「どちらかといえばある」が40.2%となっており、金沢市への愛着や親しみを感じている方が88.3%となっています。
- ・一方、「どちらかといえばない」が6.9%、「ない」が4.5%となっており、金沢市への愛着や親しみを感じていない方が11.4%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ある	202	48.1%					
どちらかといえばある	169	40.2%					
どちらかといえばない	29	6.9%					
ない	19	4.5%					
無効・無回答	1	0.2%					
n (回答者数)	420						

(2)金沢市への愛着や親しみを感じるどころ(複数回答※3つまで)

問29 金沢市への愛着や親しみの有無で「1・2」(ある)を選んだ方

問30 金沢市のどのようなところに愛着や親しみを感じますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

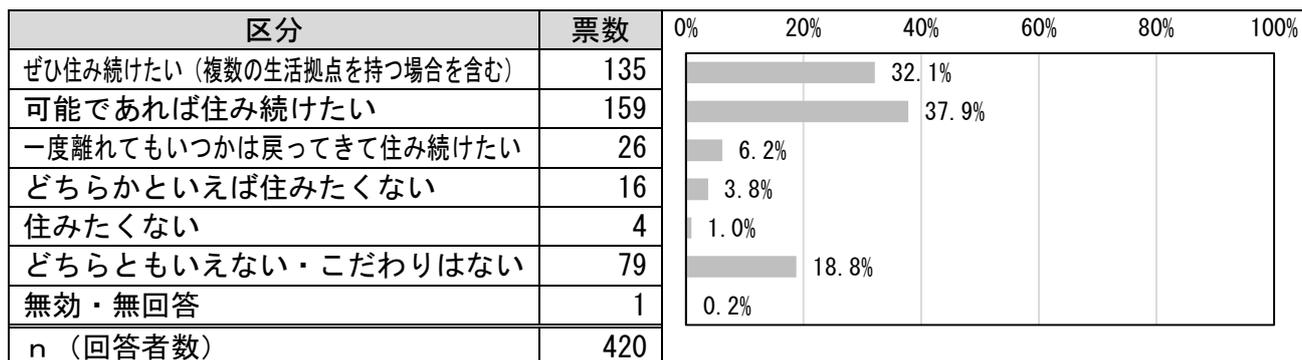
- ・金沢市の愛着や親しみを感じるどころは、「生まれ育ったまちだから」が最も多く55.0%となっており、次いで「安全・安心に暮らせる」が33.2%、「まちなみや景観が美しい」が30.5%、「親しい友人・知人がいる」が28.3%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
生まれ育ったまちだから	204	55.0%					
歴史や伝統を感じられる	96	25.9%					
まちなみや景観が美しい	113	30.5%					
文化・芸術活動が盛んである	73	19.7%					
まちに賑わいがある	30	8.1%					
自然が豊かである	65	17.5%					
安全・安心に暮らせる	123	33.2%					
買い物や通勤・通学がしやすい	81	21.8%					
図書館やスポーツ施設などの公共施設が充実している	29	7.8%					
地域コミュニティ活動が盛んである	5	1.3%					
子育てがしやすい	2	0.5%					
親しい友人・知人がいる	105	28.3%					
その他	5	1.3%					
無効・無回答	2	0.5%					
n (回答者数)	371						

(3)金沢市での定住希望(単一回答)

問31 あなたはこれからも金沢市に住み続けたいと思いますか。

- ・金沢市での定住希望は、「ぜひ住み続けたい（複数の生活拠点を持つ場合を含む）」が32.1%、「可能であれば住み続けたい」が37.9%、「一度離れてもいつかは戻ってきて住み続けたい」が6.2%となっており、金沢市に住み続けたいと思っている方が76.2%となっています。
- ・一方、「どちらかといえば住みたくない」が6.2%、「住みたくない」が3.8%となっており、金沢市に住み続けたくないと思っている方が10.0%となっています。
- ・また、「どちらともいえない・こだわりはない」が18.8%を占めています。

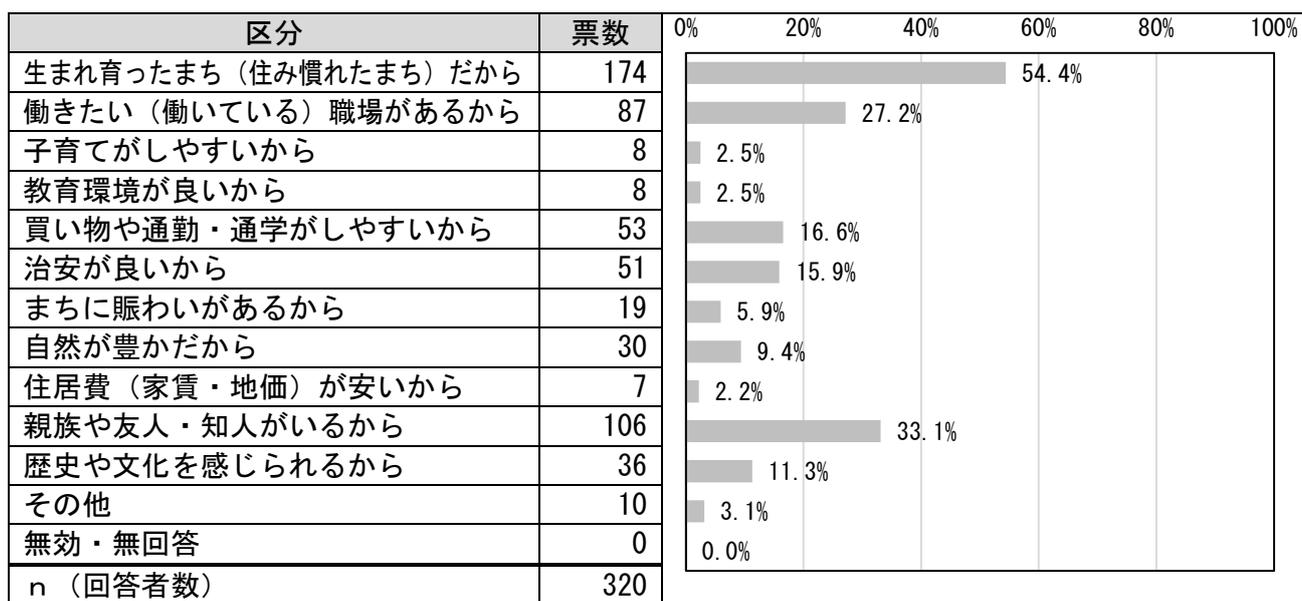


(4)金沢市に住み続けたい理由(複数回答※2つまで)

問 31 金沢市での定住希望で「1～3」(住み続けたい)を選んだ方

問32 金沢市に「住み続けたい」と思う理由は何ですか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- ・金沢市に「住み続けたい」と思う理由は、「生まれ育ったまち（住み慣れたまち）だから」が54.4%と最も多くなっており、次いで「親族や友人・知人がいるから」が33.1%、「働きたい（働いている）職場があるから」が27.2%となっています。

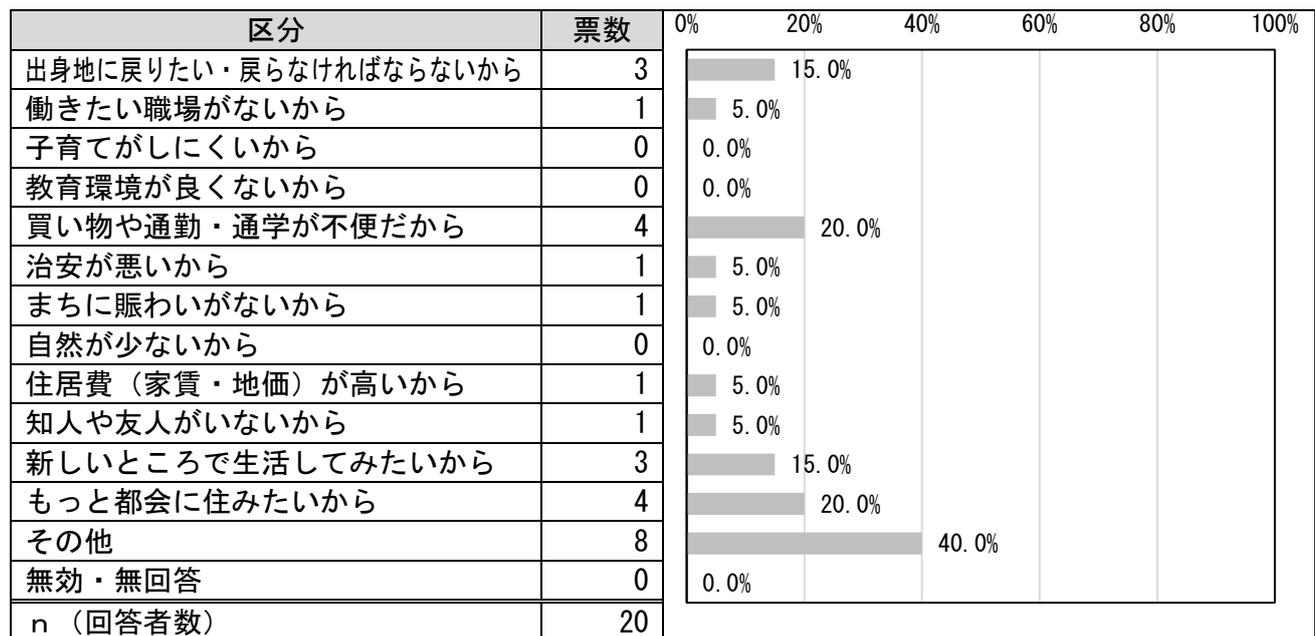


(5)金沢市に住み続けたくない理由(複数回答※2つまで)

問 31 金沢市での定住希望で「4・5」(住み続けたくない)を選んだ方

問33 金沢市に「住み続けたくない」と思う理由は何ですか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- ・金沢市に「住み続けたくない」と思う理由は、「買い物や通勤・通学が不便だから」が20.0%、「もっと都会に住みたいから」が20.0%、「出身地に戻りたい・戻らなければならないから」が15.0%、「新しいところで生活してみたいから」が15.0%と多くなっています。また、「その他」が多くなっており、天候の意見が多くなっています。



9 自由意見

(1)金沢市の子育ての環境や支援の意見(自由回答)

問 34 最後に、金沢市の子育ての環境や支援についてご意見がございましたら、ご自由に入力してください。

経済的支援

- ・ 出産、育児、教育にかかる費用負担が大きく、とにかく金銭的な不安が大きい。
- ・ 子育ての環境の支援も必要だと思うが、その前に賃金をあげてもらわないとそもそも子供を産むこと自体が難しいと思う。
- ・ 現在は賃金が非常に低く、自分のことで精一杯になり子供を育てる想像がつかない。将来子供を産みたいと思うが、支援がないと育てることは難しい。
- ・ 経済的支援と子供の受入れ枠を充実させて頂けると、子供について前向きに検討できる。

結婚支援

- ・ 結婚相談所等の料金が高すぎて若い世代の入会は難しいため、もう少し安くしたり支援があれば嬉しい。
- ・ 恋活、婚活支援として市運営のパーティー実施や結婚情報サービス業の入会金及び活動費の一部補助。

不妊治療・子育て支援

- ・ 不妊治療への補助の充実と、職場の理解促進。
- ・ 不妊治療の年齢制限をなくしてほしい。
- ・ 金沢市もこども医療費の窓口負担をゼロにして欲しい。
- ・ 賑わっている子供の遊び場（無料）が増えればいいと思う。雨の日が多いので、雨の日でも子供が元気に遊べる施設。
- ・ チャイルドシートやベビーベッドなど短期間しか使わないもののレンタルなどあれば助かる。

その他

- ・ ベビーカーや子ども連れの方が萎縮するような雰囲気、少なくなったとはいえ残っていると思う。子育てに寛容な市にするための意識啓発の取り組みを望みます。
- ・ 保育・教育に関わる働きをしている人たちへの待遇がもう少し良くなるべきだと思います。
- ・ 子育て支援も頑張りたいですが、配偶者がいない世帯にもメリットのある市政にして欲しい。結婚、出産という流れは個人の選択であり、またそれをしないことも個人の選択であるため同様に尊重させるべきだと思う。